

○水生生物モニタリング調査結果一覧（阿武隈川河口沖K）

<阿武隈川河口沖K 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
K-1	—	○	—	—	○	—
K-2	○	○	○	○	○	○
K-3	—	○	—	—	○	—

<阿武隈川河口沖K 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時		水質					底質		その他	
	緯度	経度	日	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透明度 (m)		
K-1	38.0457°	140.9282°	H28.6.6	—	09:46	—	16.9	砂	10YR5/4	なし	—	—	
K-2 (表層)	38.0455°	140.9401°		08:48	09:08	17.8	12.0	細砂	5Y2/2	なし	16.1	7.0	
K-2 (下層)				08:40		12.4							
K-3	38.0458°	140.9518°		—	09:26	—	11.0	シルト	10Y3/1	なし	—	—	

<阿武隈川河口沖K 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
K-2 (表層)	38.0455°	140.9401°	H28.6.6	08:48	8.1	0.9	2.8	8.9	4590	28.02	1.1	2	1.5	N. D. (0.0016)	0.0069	—
K-2 (下層)				08:40	8.0	0.6	1.9	9.0	5120	33.43	0.9	2	1.1	0.0017	0.0081	0.00098

注) N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<阿武隈川河口沖K 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成							Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)	
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)				最大粒径 (mm)
K-1	38.0457°	140.9282°	H28.6.6	09:46	7.9	283	25.2	1.7	1.2	2.717	0.0	1.3	60.4	36.8	0.7	0.8	0.28	4.8	9.1	48	—
K-2	38.0455°	140.9401°		09:08	7.8	257	30.6	2.5	2.0	2.746	0.0	0.0	3.1	70.6	17.3	9.0	0.12	2.0	12	57	N. D. (0.12)
K-3	38.0458°	140.9518°		09:26	7.8	238	48.0	6.7	11.3	2.723	0.0	0.1	0.3	21.8	61.3	16.5	0.050	2.0	42	290	—

<阿武隈川河口沖K 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
阿武隈川河口 周辺海域	—	—	—	H28.6.2	節足動物	軟甲	エビ [*]	ワタリガニ	<i>Portunus trituberculatus</i>	ガザミ	3	1.2	成体	—	—	0.53	N. D. (0.31)	0.53	—
					脊椎動物	硬骨魚	カレイ	カレイ	<i>Platichthys stellatus</i>	ヌマガレイ	1	0.96	成魚	空胃	内臓除去	1.1	N. D. (0.31)	1.1	—
					脊椎動物	硬骨魚	カレイ	ヒラメ	<i>Paralichthys olivaceus</i>	ヒラメ	1	2.2	成魚	空胃	内臓除去	0.93	N. D. (0.34)	0.93	N. D. (0.020)
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	アジ [*]	<i>Seriola quinqueradiata</i>	ブリ	1	2.8	成魚	魚類	内臓除去	0.57	N. D. (0.29)	0.57	N. D. (0.021)
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	サバ [*]	<i>Scomber japonicus</i>	マサバ	3	1.9	成魚	空胃	内臓除去	0.82	0.27	0.55	N. D. (0.017)
					脊椎動物	硬骨魚	フグ [*]	カハキ [*]	<i>Thamnaconus modestus</i>	ウマヅラハギ	14	3.1	未成魚	不明	内臓除去	N. D.	N. D. (0.29)	N. D. (0.29)	N. D. (0.020)

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。